	121 1-121 22 22			行動目標			仔	保健師に	こ求めら	られる ^I	専門能力			目標設定		中間評価	L	最終評価		
経験年数・職位目安	育成するコア能力	到達目標				企画立案能力	調査研究能力	運保健事力業	地域支援能力	管理能力機	社会資源開発能力	評価能力	人材(自己)育成能力	具体的な目標	達成方法	進捗状況	評価	本人 取組評価	プリセプター 評価・ コメント	管理指導者コメント
	12個職	1 基 本	-+	①地域住民と対等な目線をもって、コ ミュニケーションをとり、信頼関係を構 築できる	1年目				0											
1~3年目(技師)	人家族への責任ある対応 場適応と保健師としてのアイデンティティ	本的な個	的	②個人・家族 左字療養支援者から必要	1年目				0											
		別 支 援	例	③個人・家族の健康問題をアセスメント し、ニーズを判断し支援計画をたてる	1年目				0											
		を単独で実施できる	的な保	④地域や家庭訪問に積極的に出向くこと ができる	1年目				0											
			健事業の	⑤対象の状況に併せて、適切な保健指導 などの支援ができる	1年目				0											
			運営は自立	⑥社会資源・関係機関の業務内容を把握 し活用できる	1年目						0									
				⑦対象者に合わせた支援・援助を関係機 関と連携を図りながら実施できる	1年目				0		0									
			遂行で	⑧支援実施後の報告を上司に行うことができる	1年目				0				0							
			きる	⑨要点を押さえ、個人情報保護を踏まえ た記録ができる	1年目				0				0							
				⑩実施した個別支援の振り返りができる	1年目				0				0							
				⑪所内事例検討によって、情報の整理、 アセスメント、支援策決定のプロセスが わかる	1年目				0				0							
				⑫アセスメントに基づいて、どのような 時期にどのような援助をしていくか支援 計画を立案することができる。					0				0							
				⑬健康危機に関する基本的知識を持ち、 健康危機への対応を指導のもとにできる	1年目				0	0										
				⑭個別のケースの課題を、地域活動につ なげるように整理することができる。	2年目		0		0											
				⑩必要に応じて <u>地区組織</u> 、自助グループ、ボランティアグループ、NPO等と コミュニケーションをもち、協力を求め	0 45 17		0				0									
				ることができる ⑩最適なサービスを総合的に提供するために、不足する領域の人的・社会視点開発の必要性を理解できる	3年目						0									
		2 担		①保健所で行われている保健事業等へ参加し、事業全体の企画・運営・評価の一連の流れを理解できる。				0												
		当する事		②保健事業の法的根拠を理解すると共 に、保健師の役割が理解できる。	1年目			0					0							
		業 を 指		③担当事業の対象者、目的、内容を理解 した上で、事業運営ができる。	1年目			0												
		導の基に		④担当事業を実施する中で、地域・対象 者・グループの特性を把握できる。	1年目			0	0											
		実施で		⑤担当事業に関連した健康課題を意識的 に考えることができる。	1年目		0	0												
		きる		⑥実施した保健事業の評価の視点や方法 がわかる	1年目			0				0								
					1年目	0		0					0							
				⑧管内市町村の保健事業との関連を理解するとともに、事業の位置づけが理解できる	1年目						0	0								
				⑨個別支援と集団支援との関連が説明でき、個別ケースから地域全体へ視点を広げることができる。			0					0								
				⑩事業実施に関連する関係機関との調整をすることができる。	2年目						0									
				Ⅲ事業評価表による担当事業の計画立 案・実施・評価ができる	2年目							0								
				⑫地域の実態を反映した事業提案ができ る。		0						0								
				⑬研究メンバーの一員として、研究的視 点で支援や事業の評価を行い、業務改善 の方向性を見出すプロセスがわかる			0					0								
				⑭担当する事業を通して、地域の健康課 題と研究課題を見出すことができる	3年目		0					0								
													-		※到達度は5段階	で評価する				

- ※到達度は5段階で評価する
 5 達成している(助言なし、または少しの助言で発展させることができる)
 4 ほぼ達成(具体的な助言により達成できる)
 3 課題が残る(具体的な助言を繰り返すことでできる)
 2 達成できない(具体的な助言を繰り返しても不十分)
 1 体験する機会がない